

FUJIEDA ROTARY CLUB

# Weekly Bulletin

例会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321  
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040

会長：柳原寿男 副会長：鈴木廣利  
幹事：宮川邦光 副幹事：松葉隆夫



2004-2005年度  
RIテーマ

## ロータリーを 祝おう

100年の歩み  
グレンE.エステス・シニア



大井川鉄道のSL

[写真提供：青島 克郎君]

## 第1591回

<ソング> 手に手つないで  
<ソングリーダー> 飯塚 秀彦君

CELEBRATE  
ROTARY



### 会長挨拶

柳原 寿男君

9月は「新世代のための月間」であり、本日は藤枝順心高校インターアクトクラブの皆さんと顧問の先生をお迎えしての例会です。

インターアクトは1959-60年度RI会長ハロルドT.トーマス氏が提唱されたものです。当時のローターアクトが、青少年奉仕を開発する力を十分に発揮していないことに気付き、この問題を検討する委員会を発足させたことから始まったといわれます。その2年後に米国フロリダ州メルボルン高校生23名からなる、最初のインターアクトクラブが結成されました。現在は加盟国数117ヶ国、会員229,661クラブを数えるに至っています。

インターアクトは、ロータリーが青少年に、楽しく意義ある奉仕プロジェクトに参加の機会を与えようとするものです。インターアクターは友人を作りながら、指導者としての技能と行動力を習得することになります。そしてインターアクトは、RIとロータリー財団から各種の援助を受けることができます。

我々ロータリアンはインターアクターに、奉仕活動とはどのようなことか、奉仕とは何かを教える必要があります。持てる者が持てない者に施すことが「奉仕」でないことは分かっています。

ロータリーは親睦から始まり、職業奉仕へ、そして社会奉仕へ、更に国際奉仕へと拡大してきた経緯があります。そしてその底に流れているものが、相手の身になって考え行動するという奉仕の理想です。

一例を申し上げます。政府開発援助(ODA)については、いろいろ取り沙汰されていますが、私の所属する日本医師会(以下日医)が、ネパール政府との間に実施して来た「日本医師会ネパール学校地域保健プロジェクト」は、1992年から始まり本年6月に12年間にわたる活動を終了しました。日医として初めての海外医療協力でした。

12年前現地入りした時の課題は「世界で最貧国の一つネパールの乳幼児死亡率を低減させるための最良の方法は何か」でした。カトマンズから南東40キロのコパン地区にヘルスケア・センターを建設。ここを拠点に活動を開始、試行錯誤の中にたどり着いた結論は、

- 「子ども主体の衛生活動を行うこと」
  - 「母親の識字教育を向上させること」
  - 「地域の保健指導者のレベルを向上させること」
- でした。

先進国が途上国に入り、注射や抗生物質を持ち込んで、現地の文化や風習を無視、時に破壊するような活動を医療協力という時代は終わったようです。元来、その地域を良くするために何を実行するかは、ひとえにその他の住民が決めることで、医療協力は保健衛生面での住民の活動を外から支えていくものであるという考えが、今後再認識されることでしょう。

ロータリー精神の「相手の身になって考え、行動する」が生かされるようです。

## 理事会報告 宮川 邦光君

- 10・11月のプログラムが承認されました。
- 10月の理事会が10月6日午後13時30分より開催、承認されました。
- 新会員再入会(鈴木晶一朗君)の入会が承認されました。
- 地区大会について出席義務者と開催地熱海まで交通手段(JR)で行きます。ポリオ・プラス募金チャリティーオークション・バザーの品物の募集を当クラブ全員にお願いする件が承認されました。
- 新潟・福井災害義援金の寄付金は全会員に特別徴収千円の協力をお願いする件が承認されました。
- 市制50周年記念松任市親善ゴルフ大会に出席する松任ロータリーの方のお土産と協賛金が承認されました。
- 次年度会長・幹事指名委員会の委員長に望月晃28代会長。委員に栗原29代会長、竹田30代会長、松葉31代会長、渡辺32代会長が承認されました。

## 幹事報告 宮川 邦光君

- 第2回藤枝地区暴力追放・銃器根絶決起大会の開催のお知らせが届いております。  
日時 10月7日(木)  
会場 藤枝市民会館ホール
- 国際ソロプチミスト藤枝から会長・事務局交代のお知らせが届いております。
- 藤枝ゴルフ連盟より松任市歓迎懇親会出席のお願いのお知らせが届いております。
- 藤枝子どもと本をつなぐ会通信No13が届いております。

## 出席報告 松葉 隆夫君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
25 / 41 60.98%	32 / 41 78.05%

(1)欠席者(事前連絡とメッセージをどうぞ)

岩崎君 片岡君 栗原君 小宮君  
宮崎君 杉山君 村松宏君 望月俊君

酒向君 浅川君 板倉君 鈴木廣君 仲田晃君  
村松英君 望月志君

## ビジター

中山 光郎君(静岡東)

## スマイルBOX 松葉 隆夫君

- 家内の誕生祝をありがとうございます。家内も「年金」をもらう年令となりましたが、元気で暮らしております。 水野 義猛君

スマイル累計額 424,300円

(スマイル年払希望者を含む 31名)

## 国際奉仕委員会報告

国際奉仕委員長 仲田 廣志君

青少年交換学生選考会報告

日 時 9月4日 PM1:00~

9月5日 PM4:00

会 場 御殿場市 東山荘

志願者数 6名

スピーチ、適正テスト、面接を行う

10名程度の派遣予定であるので追加募集2~3名したい。今後3~4回の研修を重ね、来年8月中旬に派遣を予定している。

当クラブ推薦の竹越翔子さんは、アメリカ留学を希望している。

## 藤枝順心高校インターアクトクラブ卓話

顧問 佐野 巖先生

4月に五十嵐先生と顧問を交代してから6ヶ月が過ぎました。まったく初めての世界で、周りの人たちに支えられて、なんとかここまで来たというのが実感です。インターアクトの意味、ロータリークラブとの関係等、いろいろなことを勉強しながらでした。特に、6月の指導者講習会では、ここまでという形で残っていたいただいた五十嵐先生に全面的にお願いする



ことになってしまいました。ただ、指導者講習会をとおして、本校インターアクト部の日常の活動がよくわかり、また会の内容も充実したものになったことは、良かった点でした。

また 8月の年次大会では、他校の先生方との交流や、山梨地区ロータリアンのボランティア活動の様子など大変勉強になりました。

これから まだまだ勉強していくことが沢山ありますが、本校インターアクト部としてのあり方を考え、さらなる可能性を追求していきたいと考えています。

今後ともよろしくお願い致します。

日常の活動について

副部長 3年 窪野 良子さん

私達インターアクト部の部員数は、1年9名、2年9名、3年20名、計38名が所属しています。普段の活動は、毎週水曜日に定例会を開き、今年は指導者講習会のホスト校にあたったということもあり、定例会では指導者講習会の準備を行ってきました。この準備では、テーマや内容を部員で意見を出し合い決め、パソコンを使ってプログラムを作ったり、会場の準備をしたりしてきました。



その他にも、月に一人1～2回幼稚園へ行き、延長保育の先生方のお手伝いをしに行っています。例えば、園児のお世話や用具の片付け、カーテン閉めなど身の回りで気がついてことを積極的に言い、コアラッコという活動にも参加しています。この活動は知的障害の人とボール投げをして遊んだりし、障害を持っている人との交流も大切に行っています。

指導者講習会について

部長 3年 梶山 初美さん

指導者講習会の準備が本格的に始まったのは、3月の終わり頃からでした。定例会では全体会についての意見がなかなか出ず、準備が遅れていた

ので忙しい春休みとなりました。6月12日までの約2ヶ月半の間にしなければならぬ事は多く、特に書類の作成には



文書科の部員に沢山協力してもらい、何度も何度も作り直しをして完成しました。参加者名簿は欠席する人が出たり、分科会の偏った人数調整があったりなど時間がかかりました。また、講師の先生方との打ち合わせなど、経験したことがない作業では顧問の先生にまかせきりになり、大変お世話になりました。当日は開会式に始まり、全体講演会では「視覚障害と私」という演目で杉山満也氏に楽器をまじえてのお話をして頂きました。大変好評でした。昼食後の分科会では、「今、私たちにできること」をテーマに、4分科会を開設。手話、点字、知的障害児との触れあい、午前に引き続いての視覚障害についての話と、盛況のうちに終わりました。アンケートでもおほめの言葉をたくさん頂き、大変充実した講習会になったと思いました。

年次大会について

副部長 2年 三浦 優美さん

私達は、8月2日、3日と山梨県で行われた第31回年次大会に参加しました。

1日目は大月短期大学学長の村越さんが



お話しをして下さいました。次にパネルディスカッションを行いました。パネラーの方々が体験したことを写真を交えながらお話して下さいました。一番印象に残ったのは世界平和を願い、海外で太鼓の演奏会を行っているというお話です。夕食の立食パーティーの時メンバーの方々が演奏してくれた時、体の底まで響いてきてとても感動しました。とても力強く少しでも多くの人に聞いてもらいたいと思いました。メンバーの人達は、小学生から大人まで様々で、太鼓をたたいている

姿はみんな真剣で、それでいて楽しそうな感じがしました。みんな心の底から太鼓が好きなのだと感じました。学校紹介もしました。他校の活動内容が分かり今後の参考になりました。2日目は、山梨県立富士湧水の里水族館、山梨県環境科学研究所、富士山レーザードム館では、富士山頂の気温を再現した部屋があったり色々勉強になりました。お昼は富士山アリーナでお弁当を食べました。



閉会式をやって解散しました。2日間という、とても短い時間でしたがとっても勉強になりました。

( 担当 / 青島克 )